



2015年5月8日

各 位

東京都江東区豊洲五丁目6番52号
株式会社オートバックスセブン
代表取締役 社長執行役員 湧田 節夫
[コード番号 9832 東証第一部]

問い合わせ先 IR・広報部長 椎野 泰成
TEL 03-6219-8787

中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、2014年5月8日に公表し、2015年3月期より取り組みを開始しております「2014 中期経営計画」につき、その一部を下記の通り見直すことといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 見直しの背景

2015年3月期におきましては、長期的な市場の縮小傾向に加え、消費税増税前の駆け込み需要に対する反動減を見込んでいたものの、当初の想定より需要の縮小が長期にわたるなど、業績が大きく低迷いたしました。これらの状況を鑑み、当初の計画どおり目標を達成することは困難であると判断するとともに、成長戦略を再構築するため「2014 中期経営計画」を見直すことといたしました。

2. 計画の概要

(1) 基本方針

オートバックス事業の収益を拡大するとともに、海外事業、新規事業を将来における収益の柱として中長期的な視点で育成する基本方針につきましては、変更はありません。

(2) 数値目標

- ①連結営業利益 : 180億円の目標は見直しを行い、2016年3月期第1四半期決算発表時の公表を予定しております。
- ②連結ROE : 引き続き8%を目指してまいります。
- ③連結DOE（株主資本配当率） : 3%以上を維持する目標に変更ありません。

(3) 計画期間

2018年3月末までと当初の計画から変更はありません。

3. 事業戦略等の概要

(1) オートバックス事業戦略の概要

事業戦略方針については、当初の計画の通り、「顧客価値の再構築による競争優位性の確立～お客様への利便性と安心の提供～」を基本方針とし、お客様とつながり続ける関係の構築と接点強化を戦略の軸とした施策の展開を図ってまいります。

(2) 海外事業戦略の概要

事業戦略方針および重点施策について変更はございません。

成長期であるASEAN地域を中心とし、現地企業とのパートナーシップを積極的に活用し、小売事業だけではなく卸売などの周辺事業においてもスピードをもった事業展開を推進してまいります。

(3) 新規事業戦略の概要

事業戦略方針および重点施策について変更はございません。

オートボックス事業との相乗効果の有無にかかわらず、車関連分野を中心に、将来の収益の柱となる事業を積極的に模索し、M&Aや提携を積極的に活用した事業展開を早急に図ってまいります。

(4) 財務戦略の概要

キャッシュ・フローを増大し、積極的に事業投資を行うとともに、安定的かつ継続的な株主還元として連結DOE3%以上を維持してまいります。

また、引き続き連結ROEを最重要指標のひとつと位置づけ、利益の最大化と投資収益性の向上を図り、財務の健全性を確保しつつ連結ROE8%の実現を目指してまいります。

以上